

行友李風 （筆名） 小説家、劇作家。明治十年二月一日廣島縣生れ、昭和二十四年十一月十二日歿（二七七一一九五）。本名直次郎。『大阪新報』記者、松竹合名會社文藝部を経て、大正八年新國劇の専屬作者となり、當の狂言「月形半平太」、一國定忠治」を書いた。『ち小説の轉じ』、『修羅八荒』を以て人気作家となる。

編著書、並木五瓶 瀬川如眞他作『江戸脚本中幕物』（編、大正二年九月一日、本 深

江堂書店）『カナメ叢書』。再刊、十年七月五日大阪・湯川松次郎刊、

誠文堂書店 登美堂書店發賣）、『行友李風集―修羅八荒外一篇』（昭和四年四月、附 附文館書店）

一 白平凡社『現代大衆文學全集』（『律と小』）（昭和十六年八月

二十五日大阪・橋書店）、『月夜の子守唄』（昭和十七年一月）千日

大阪・實業日報社）、『武藝の極意』（岡本素夫編、昭和十八年六月

五日愛知・戦地の友社『慰問文庫』（『化鳥地獄（上巻）・愛憎篇』

（内題）『巷説化鳥地獄・愛憎篇』昭和二十四年四月）千日（二高書房）

等。